



中学生の主体的な活動を応援します！

～生徒会による「だれもが行きたくなる学校づくり」応援プロジェクトの紹介～

©岡山県「ももっち」

今年度から、『生徒会による「だれもが行きたくなる学校づくり」応援プロジェクト』を実施しています。生徒の個性や創造力を伸ばすことを目的に、岡山県教育委員会が最大50万円を補助して、中学校生徒会の自主的な活動を支援しています。今号では、採択校となった中学生による取組のひとつを紹介します。



倉敷市立玉島北中学校の取組「みんなで作ろう！防災マイバッグ」

①「事業計画書」等を提出

学校名	倉敷市立玉島北中学校
事業名	みんなで作ろう！防災マイバッグ
事業の目的	地域の人との関わりを深めながら、自分たちの防災意識を高めるために、非常用持ち出し袋と配布し、災害に備える。
事業の内容	<p>7/1(水)～7/5(日) 非常用持ち出し袋に印刷するイラストを全校生徒から募集する</p> <p>7/6(月)～7/12(日) 募集したイラストの中から生徒会執行部でデザインと決定する</p> <p>7/12(日) 注意</p> <p>7/13(月)～7/19(日) 商品が届く</p> <p>7/20(月)～7/26(日) 非常用持ち出し袋とその中に入れる物のチェックリストを仕分けする</p> <p>7/27(火) 生徒会執行部主催の避難訓練の際に配布する</p>
着手予定日	9月1日
完了予定日	11月10日

②プレゼンテーション

アンケートで把握した状況をもとにターゲットを絞った企画をプレゼン

その場で質疑応答

第2次審査員

防災バッグに入れる中身とその周知を、どのように行う予定ですか？

生徒

自分自身の言葉で質問に対応

…震災学習で学んだ内容から中身を決め、生徒会主催の避難訓練で周知します。

第2次審査員

防災意識の低い人や地域の方々にどのように働きかけますか？

生徒

…学区のボランティア活動とつなげる等、機会を捉えて声を掛けていきたいです。

第2次審査員

防災意識をどこまで高めたいと考えていますか？また、すでに防災バッグを持っている人と持っていない人とのバランスをどうとりますか？

生徒

…逃げ遅れる人を出さないよう、防災バッグは何個持っていてほしいと考えます。10人中10人全員が防災バッグを持つことを目標とします。

③ロゴデザインを校内で募集

生徒が協力的に事業を計画

オリジナルロゴ決定

④生徒会の夢、実現!!

生徒会主催の避難訓練で趣旨説明

こんな大きなチャレンジは初めてで達成感でいっぱい。後輩にもいろいろなことにチャレンジしてほしいです。

生徒会長

他の採択校

本年度は、玉島北中学校に加えて、津山市立鶴山中学校、玉野市立荘内中学校、浅口市立寄島学園、早島町立早島中学校の5校です。第2次審査等の様子は、岡山県教育委員会公式noteで公開中です。

令和8年度も実施予定

ご応募お待ちしております。



「やりたいことを形にする」という**実行力が育って**おり、生徒会活動の取組が他の生徒や学校全体にエネルギーをもたらしています。生徒たちには**自分たちの学校を、自分たちで良くする当事者意識**が生まれ、学校は生徒の声を生かす姿勢に変わりつつあります。今後も生徒が主役になる活動をフォローしながら、よりよい形で生徒主体の活動を広げていきたいです。